

会議結果報告書

1 会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（市民向け意見交換会②）
2 日時	平成 30 年 12 月 1 日（土）14：00～15：45
3 場所	市役所本庁舎 4 階第 1 会議室
4 出席者	（資源循環課）森岡担当主査、原田副主査、永井主任 （環境事業センター）広田主幹、関原主査 （市民）参加人数：10 人
5 内容	<p>本市のごみ処理に関する課題について説明を行った。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <p>●県内で有料化を実施している先行市では、どのような袋を用意しているか、また、対象としている品目はなにか。 →4 市とも可燃ごみと不燃ごみを有料化の対象としている。有料袋の大きさや、値段については資料のとおりである。一方で、藤沢市については、可燃・不燃ごみに加え、資源物について戸別収集の対象としているところである。</p> <p>●一般的な有料袋の大きさは何ℓか。 →世帯によるが、よく販売される袋の大きさは、20ℓであると聞いている。</p> <p>●藤沢市で販売されている袋の枚数は。 →先行市では 10 枚入りで 1 セットが基本である。例えば 20ℓの袋であれば、20ℓ×2 円×10 枚がその販売価格となる。</p> <p>●茅ヶ崎市のごみ処理経費の財源はどこから捻出されているか。 →建設改良費を含めたごみ処理経費については、市税や起債等で賄っているところである。</p> <p>●有料化を実施した場合は、様々な袋の大きさを用意して欲しい。 →有料化を実施する場合は、5ℓから 40ℓの有料袋を用意している先行市を参考にしながら、様々な袋の大きさを用意したいと考えている。</p> <p>●有料化と戸別収集を実施する目的を具体的に教えて欲しい。また、ごみ処理経費を有料化で賄うのであれば、想定される袋の値段では安すぎるのではないか。さらに、家庭系のごみ、事業系のごみ、または資源物の処理等、各項目ごとの経費を算出し示していくべきではないか。 →ごみの減量化が目的である。それにより、ごみ処理経費を減少させる一方、ご負担していただく手数料を財源として、施設整備や灰の資源化などの必要な経費に充て、安定的なごみ処理を継続していきたいと考えている。袋の値段については、市民の皆</p>

さまに受けられる現実的な設定が必要であり、また、先行市の事例から十分に減量効果が期待できる設定にしなければならないと考えている。また、事業系のごみなども有料化の対象となりえるため、それらに要する経費についても十分に検証していきたいと考えている。

●戸別収集を実施しないと決定した場合、高齢者や障害者などのごみ出しが困難な方への対応はどのように考えているか。

→現在、要件を満たしたごみ出しが困難な方へは、「安心まごころ収集」という制度を活用していただき、安否確認も含めた戸別の収集を実施している。

●有料化と戸別収集はセットで実施することになるか。

→先行市については、有料化のみ実施しているところもあれば、両方実施しているところもあるため、それぞれの施策について、別々に検討していきたいと考えている。

●有料化が実施されると、スイカなど、生ごみが多くでてしまう商品を購入することをためらう人がでてくるのではないかな。

→まず、未利用食品を減らすことに努めていただくことを市民の皆さまにお願いしたい。また、有料化を実施すると、今までごみとして排出していた資源物を適正に分別しようとする意識が生まれることにより、ごみの減量化が図られると考えている。

●海外など、資源物の引き取り先が、受入をストップしていると聞いたが、どのような影響があるのか。

→輸出先が制限されることにより、国内での資源物処理経費があがるなどの影響があると言われている。

●有料化に伴う先行市のごみの減少は一時的なものではないか。

→有料化を導入することによりごみは減少するが、しばらくすると減少は止まり、横ばいに推移する。ごみの量が、有料化導入前にリバウンドする傾向は先行市ではみられない。

●オムツやボランティア清掃などのごみは、有料化の対象にしないで欲しい。

●水分を多く含んだ生ごみなどの燃えにくいごみは、焼却炉で燃やすときに油を加えていると思うが、環境負荷がかかる。プラスチックなどに含まれた油を利用するため、それを、生ごみと一緒に燃やしてしまったほうがよいのではないかな。

→焼却方法としては、ごみの種類によって燃えやすさが異なるため、ピット内でごみのかくはん作業を行う。その後、ガスにより火を起こしておいた焼却炉にごみを投入する。焼却炉の下から空気を送り、燃えやすい状態とし、ごみを乾燥させるエリア・

燃やすエリア・完全に灰にするエリアをとおり、ごみを焼却しており、安定的な焼却ができている。

●有料化を検討していることを寒川町は知っているか。

→ごみと資源物を広域で処理しているが、定期的な連絡会議等を通して課題や情報の共有を図っている。

●有料化を実施した市町村に住んでいたが、不法投棄が散見された。対策はしっかりとって欲しい。

→パトロール等を強化することを考えている。また、戸別収集も併せて検討しているため、実施する場合は、その対策になると考えている。

●啓発を強化することだが、市民向けだけでなく、事業者に対しての働きかけが大切かと思うが、検討されているか。

→有料化に伴い、家庭系のみならず、事業系についても手数料を徴収することになるので、今回のような説明会をとおして事業者にも啓発を実施していく。

●大和市や藤沢市の一人当たりのごみ処理経費を教えて欲しい。

→各市での資源化の方法や戸別収集の実施の有無等が異なるので、比較が難しいところだが、参考として、藤沢市は 14,972 円、大和市 12,763 円である。また、有料化の手数料等の収入については、差し引かれていない。

以上